FREQROL インバータドライバ

1	システム構成	
2	接続機器の選択	8
3	通信設定例	9
4	設定項目	57
5	結線図	61
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

三菱電機(株)製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

重要

 信号線の断線や表示器の故障などの理由で通信が途切れる異常が発生しても、インバータ側では異常の検出を行えませんので、インバータの交信リトライ機能や交信 チェック機能を使用して危険防止を行ってください。詳細については接続機器のマニュアルを参照してください。

> 通信している状態でインバータをリセットしないでください。誤動作の原因となり ます。インバータをリセットする場合は表示器をオフラインモードにしてください。

シリーズ	インバータ 1	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例1」 (9ページ)	「 結線図 1」 (61 ページ)
FR-A700	FR-A720- K FR-A740- K	インバータ上の	RS422/485 (4 線式)	「設定例2」 (11ページ)	「 結線図 2」 (64 ページ)
		RS-485 端子	RS422/485 (2 線式)	「設定例3」 (13ページ)	「 結線図 3」 (69 ページ)
	FR-A721- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例1」 (9ページ)	「 結線図 1」 (61 ページ)
FR-A701		インバータトの	RS422/485 (4 線式)	「設定例2」 (11ページ)	「 結線図 2」 (64 ページ)
		RS-485 端子	RS422/485 (2 線式)	「設定例3」 (13ページ)	「 結線図 3」 (69 ページ)
		インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例4」 (15ページ)	「 結線図 1」 (61 ページ)
FR-F700	FR-F720- K FR-F740- K	インバータ上の RS-485 端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 5」 (17 ページ)	「 結線図 2」 (64 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	「設定例 6」 (19 ページ)	「結線図3」 (69ページ)
		インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例7」 (21ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
FR-F700	FR-E720- K FR-E740- K		RS422/485 (2 線式)	「設定例 8」 (23ページ)	「 結線図 5」 (85 ページ)
	FR-E720S- K FR-E710W- K	FR-E7TR 上の RS-485 端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例7」 (21ページ)	「 結線図 8」 (110 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	「設定例 8」 (23 ページ)	「 結線図 9」 (115 ページ)
FR-V500	FR-V520- K FR-V540- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 9」 (25 ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
		FR-A5NR 上の端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 10」 (27 ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)
FR-V5001	FR-V520L- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 9」 (25 ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
	FR-V540L- K	FR-A5NR 上の端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 10」 (27ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)

シリーズ	インバータ ¹	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
FR-4500	FR-A520- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 11」 (29 ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
117,4500	FR-A540- K		RS422/485 (4 線式)	「設定例 12」 (31ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)
FR-45001	FR-A520L- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 11」 (29ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
	FR-A540L- K	FR-A5NR 上の端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例12」 (31ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)
FR-F500	FR-F520- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例13」 (33ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
	FR-F540- K	FR-A5NR 上の端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 14」 (35 ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)
FR-F5001	FR-F520L- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例13」 (33ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
	FR-F540L- K	FR-A5NR 上の端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 14」 (35 ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)
FR-E500	FR-E520- K FR-E540- K FR-E520S- K FR-E510W- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 15」 (37ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
FR-C500	FR-C520- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 16」 (39ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
FR-S500	FR-S520- K(-R)(-C) FR-S540- K(-R) FR-S520S- K(-R) FR-S510W- K(-R) FR-S520E- K(-C) FR-S540E- K FR-S520SE- K FR-S510WE- K	インバータ上の RS-485 コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 17」 (41 ページ)	「 結線図 4」 (76 ページ) ²
	FR-S520E- K-NMR	インバータ上の RS-485 端子	RS422/485 (2 線式)	「設定例 18」 (43 ページ)	「 結線図 6」 (98 ページ)
FR-F500J	FR-F520J- K(F) FR-F540J- K(F)	インバータ上の RS-485 コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 19」 (45 ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
FR-B B3(4500)	FR-B- K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 20」 (47 ページ)	「結線図4」 (76ページ) ²
FR-B,B3(A300)	FR-B3-(N)(H) K	FR-A5NR 上の端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 21」 (49 ページ)	「 結線図 7」 (105 ページ)
) FR-B- K FR-B3-(N)(H) K	インバータ上の PU コネクタ	RS422/485 (4 線式)	「設定例 22」 (51 ページ)	「 結線図 1」 (61 ページ)
FR-B,B3(A700)		インバータ上の RS-485 端子	RS422/485 (4 線式)	「設定例 23」 (53 ページ)	「 結線図 2」 (64 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	「設定例 24」 (55 ページ)	「 結線図 3」 (69 ページ)

1 は各インバータの容量により異なります。

2 1:1 接続の場合は結線図1を使用することもできます。

接続構成

1:1 接続



• 1:n 接続





IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S/11 - 7	使用可能ポート			
X	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A	COM1, COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ¹	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ¹ , COM2 ¹ , COM3 ² , COM4	COM3 ²	COM3 ²	
PS-3711A	COM1 ¹ , COM2 ²	COM2 ²	COM2 ²	
PL-3000B、PL-3600T、 PL-3600K、PL-3700T、 PL-3700K、PL-3900T	COM1 ¹ ² , COM2 ¹ , COM3, COM4	COM1 ¹ ²	COM1 ¹ ²	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF ¹	予約(常時 OFF)	
2	OFF		
3	OFF	地后刀式, KS-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード:無効	
10	OFF		

1 PS-3450A、PS-3451A を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON		
3	ON		
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DC(DTC) 白動制御王 _ ド・無効	
10	OFF		

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON		
3	ON	通信刀式、KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	- RS(RTS) 自動制御モード:有効	
10	ON		

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

💰 ブロジェクトファイルの新規作成		×
62.2co	接続機器	
	メーカー 三菱電機(株)	v
	シリーズ FREQROL インバータ	▼
	▶ システムエリアを使用する	この接続機器のマニュアルを見る
	接続方法	
	ポート COM1 💌	
		総合接続イニュアルへ
₹	(日) 通信設定 ロジック画面作成	ベース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容		
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「三菱電機(株)」を選択します。		
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「FREQROL インバータ」を選択します。 「FREQROLインバータ」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してく ださい。 ^{CGP} 「1システム構成」(3ページ)		
システムエリアを使用する	本ドライバでは使用できません。		
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。		

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
通信速度	19200	_
データ長	07	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	0.1	• 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 :	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🔅	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力) ます。デジカル制	(こするか VOC(5)で重源供給) BS220 アインルージョンフェッ
トを使用する場合(ま、VOCを選択し	てください。 初期職会定
機器別設定		
接続可能台数 16名		
No. 機器名		
, ,		SLI /

機器設定

💣 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FR-A70	0/A701 💌
シリーズを変 使用されて(くだざい。	更した場合 いるアドレス	合は、すでに 、を再確認して
局番号	0	
		初期設定
OK (C	»	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- 3 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	PU 通信局番
118	192	PU 通信速度
119	1	PU 通信ストップビット長
120	2	PU 通信パリティチェック
121	1	PU 通信リトライ回数
122	0 以外	PU 通信チェック時間間隔
123	9999	PU 通信待ち時間設定
124	1	PU 通信 CR/LF 選択

MEMO

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要			接続機器変更		
×	ーカー 三菱電機(株	;)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1		
文	字列データモード 「	1 変更			
通信設	定				
通	館方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) · ● RS422/485(4線式)		
通	館速度	19200	•		
デ	一々長	O 7	· 8		
19	リティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 		
2	トップビット	0.1	@ 2		
70	口一制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
\$~	イムアウト	3 🔆 (s	ec)		
91	⊦∋∕	2 🔅			
送	信ウェイト	0 🔅 (r	ns)		
RI		🕫 RI	C VCC		
F	RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)に	するか VCC (5 V 軍源供給)		
	とするがを選択できる	、VCCを選択して	22320パイクレーションユニック (ださい。 初期設定		
機器別					
接	続可能台数 16台	100			
	No. 機器名		設定		
ă.					

機器設定

💰 個別機器	設定		×
PLC1			
シリーズ シリーズを変 使用されてい	FR-A70 更した場合 いるアドレス	0/A701 💽 合は、すでに 、を再確認して	
くだざい。 局番号	0	<u> </u>	1
		初期設定	
OK(<u>O</u>		キャンセル	

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	RS-485 通信局番
332	192	RS-485 通信速度
333	1	RS-485 通信ストップビット長
334	2	RS-485 通信パリティチェック選択
335	1	RS-485 通信リトライ回数
336	0 以外	RS-485 通信チェック時間間隔
337	9999	RS-485 通信待ち時間設定
341	1	RS-485 通信 CR/LF 選択
549	0	プロトコル選択

MEMO

3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL	インバータ	ポート COM1
文字列データモード 1	- <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS232C 📀	RS422/485(2線式)	〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 1	9200	•		
データ長 〇	7 .	8		
パリティ 🔿	なし 💿	偶数 〇:	奇数	
ストップビット 〇	1 📀	2		
7日〜制御 📀	なし 〇	ER(DTR/CTS) C	XON/XOFF	
タイムアウト 3	(sec)			
リトライ 2				
送信ウェイト 🛛 🛛	: (ms)			
RI / VCC @	RI C	VCC		
RS232Cの場合、9番ピ にするかを選択できます	ンをRI(入力)にする; デジルに制用S223	かVCC(5V電源供給) CRANU-SUNTEN		
トを使用する場合は、V	。 CCを選択してくださ	(%)	初期設定	
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名			00/A701.局番号=0	
		REFERENCE		

機器設定

💰 個別機器	設定		×
PLC1			
シリーズ シリーズを変 使用されてい	FR-A70 更した場合 いるアドレス	0/A701 💽 合は、すでに 、を再確認して	
くだざい。 局番号	0	<u> </u>	1
		初期設定	
OK(<u>O</u>		キャンセル	

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	RS-485 通信局番
332	192	RS-485 通信速度
333	1	RS-485 通信ストップビット長
334	2	RS-485 通信パリティチェック選択
335	1	RS-485 通信リトライ回数
336	0 以外	RS-485 通信チェック時間間隔
337	9999	RS-485 通信待ち時間設定
341	1	RS-485 通信 CR/LF 選択
549	0	プロトコル選択

MEMO

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
メーカー 三菱電機(株))	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1		
文字列データモード	1 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)		
通信速度	19200	•		
データ長	0.7	• 8		
パリティ	○ なし	• 偶数 • 奇数		
ストップビット	01	• 2		
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
タイムアウト	3 <u>÷</u> (se	ec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🔆 (m	s)		
RI / VCC	🖸 RI	O VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかち避免できま	ピンをRI(入力)にな	tるかVCC(5V電源供給)		
トを使用する場合は、	VCCを選択してく	おとうパイラレーラコラユニック ださい。 初期設定		
機器別設定				
接続可能台数 16台	HL.			
No. 機器名		設定 シリーズ=FR-F700,局番号=0		
		RUL)		

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-F70 シリーズを変更した場 使用されているアドレス ください。	0 合は、すでに な再確認して
局番号 0	<u> </u>
	初期設定
OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	PU 通信局番
118	192	PU 通信速度
119	1	PU 通信ストップビット長
120	2	PU 通信パリティチェック
121	1	PU 通信リトライ回数
122	0 以外	PU 通信チェック時間間隔
123	9999	PU 通信待ち時間設定
124	1	PU 通信 CR/LF 有無選択

MEMO

3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
メーカー 三菱電機(株))	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1		
文字列データモード	1 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)		
通信速度	19200	•		
データ長	0.7	• 8		
パリティ	○ なし	• 偶数 • 奇数		
ストップビット	01	• 2		
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
タイムアウト	3 <u>÷</u> (se	ec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🔆 (m	s)		
RI / VCC	🖸 RI	O VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかち避免できま	ピンをRI(入力)にな	するかVCC(5V電源供給)		
トを使用する場合は、	VCCを選択してく	おとりパークレークヨウユニック ださい。 初期設定		
機器別設定				
接続可能台数 16台	HL.			
No. 機器名		設定 シリーズ=FR-F700,局番号=0		
		RUL)		

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-F700 シリーズを変更した場合は、すでに 使用されているアドレスを再確認して くだざい。]
局番号 0 <u></u> 初期設定	
OK(()) キャンセル	1

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	RS-485 通信局番
332	192	RS-485 通信速度
333	1	RS-485 通信ストップビット長
334	2	RS-485 通信パリティチェック選択
335	1	RS-485 通信リトライ回数
336	0 以外	RS-485 通信チェック時間間隔
337	9999	RS-485 通信待ち時間設定
341	1	RS-485 通信 CR/LF 選択
549	0	プロトコル選択

MEMO

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード 1		
通信設定		
通信方式	RS232C 📀	RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 1	9200	•
データ長	7 0	8
パリティ 🔿	こなし 🔍	- 偶数 🔹 奇数
ストップビット 🔿	1 0	2
フロー制御	りなし 〇	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 🛛 🛛	3 🕂 (sec))
<u>リトライ 2</u>	2 -	
送信ウェイト 🔽) 🔆 (ms)	
RI / VCC	RI C	VCC
RS232Cの場合、9番ビ にするかを避免できます	ンをRI(入力)にする	かVCC(5V電源供給) 2Cマイリージョンコニッ
トを使用する場合は、	vocを選択してくださ	SCN。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	10	
No. 機器名		設定 トリーズ=FR-F700局番号=0

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-F70 シリーズを変更した場 使用されているアドレス ください。	0 合は、すでに な再確認して
局番号 0	<u> </u>
	初期設定
OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	RS-485 通信局番
332	192	RS-485 通信速度
333	1	RS-485 通信ストップビット長
334	2	RS-485 通信パリティチェック選択
335	1	RS-485 通信リトライ回数
336	0 以外	RS-485 通信チェック時間間隔
337	9999	RS-485 通信待ち時間設定
341	1	RS-485 通信 CR/LF 選択
549	0	プロトコル選択

MEMO

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機)	株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	C 7	• 8
パリティ	○ なし	○ 偶数 C 奇数
ストップビット	0.1	• 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 📑	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかち避けでき	番ピンをRI(入力)(とするかVCCのV電源供給)
トを使用する場合	は、VCCを選択して	にたさい。
機器別設定		
接続可能台数 16台		
No. 機器名		設定
1 00		

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-E70 シリーズを変更した場合 使用されているアドレス ください。	0 合は、すでに、 な再確認して
局番号 0	=
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	PU 通信局番
118	192	PU 通信速度
119	1	PU 通信ストップビット長
120	2	PU 通信パリティチェック
121	1	PU 通信リトライ回数
122	0 以外	PU 通信チェック時間間隔
123	9999	PU 通信待ち時間設定
124	1	PU 通信 CR/LF 選択
549	0	プロトコル選択

MEMO

3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	RS232C 💽	RS422/485(2線式) ORS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	7 0	8
パリティ (こなし 💿	(偶数) 〇 奇数
ストップビット 〇	01 0	2
フロー制御 (●なし ○	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 📑 (sec))
มหวิศ 🛛	2 🔆	
送信ウェイト 🛛	D : (ms)	
RI / VCC	DRI C	1 VCC
RS232Cの場合、9番と にするかを遅れできます	シをRI(入力)にする たデジタル脚RS23	5かVCC(5V電源供給) 20アイバルージョンフェッ
トを使用する場合は、	VCCを選択してくださ	さい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台		
No. 機器名		設定 「「」「シリーズ=FR-E700」局番号=0
00 1		

機器設定

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-E シリーズを変更した 使用されているアドレ ください。	700
局番号 0	
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- 3 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	PU 通信局番
118	192	PU 通信速度
119	1	PU 通信ストップビット長
120	2	PU 通信パリティチェック
121	1	PU 通信リトライ回数
122	0 以外	PU 通信チェック時間間隔
123	9999	PU 通信待ち時間設定
124	1	PU 通信 CR/LF 選択
549	0	プロトコル選択

MEMO

3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) · ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	T
データ長	0.7	@ 8
パリティ	○ なし	 偶数 〇 奇数
ストップビット	0.1	@ 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 .	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合	9番ピンをRI(入力)(し ます。デジタル製F は、VGCを選択して	にするかVOC伝V電源供給) 18232Cアイソレーションユニッ てだだい。 初期職定
機器別設定		
接続可能台数 16		=1
No. 1账器名		axE シリーズ=FR-V500/V500L,局番号=0

機器設定

💣 個別機器診	定	×
PLC1		
シリーズ 「 シリーズを変更 使用されてい	FR-V500/ ごした場合() るアドレスを	V500L 💽 払、すでに 再確認して
いたさい。 局番号 [0	
	_	初期設定
OK(<u>O</u>)	*	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は19歳1歳留のマニュアルを参照しててたさい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

2 SET キーを押します。

3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。

- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。

7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。

- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	通信局番
118	192	通信速度
119	1	ストップビット長 / データ長
120	2	パリティチェック有無
121	1	交信リトライ回数
122	0 以外	交信チェック時間間隔
123	9999	待ち時間設定
124	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
#西		
	(4+)	
メカ 二部電磁	.vitr/	27 A JEREOROE 12/1-3 W TYDOMI
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485位線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	0.7	• 8
パリティ	○ なし	• 偶数 • 奇数
ストップビット	0.1	• 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🗄	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力))(こするか VOC (5)(電源供給)
にするかを選択で トを使用する場合	きます。デジタル製 rは、VCCを選択し	RS232Cアイソレーションユニッ 大ください。 まれ期間会会 1
接続可能台数 15 No 機器を		
1 PLC1		

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-V50 シリーズを変更した場合 使用されているアドレス ください。	0/V500L – 含は、すでに 、を再確認して
局番号 0	<u>:</u> 初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は10%1歳品のマニュアルを参照しててたとい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

- 2 SET キーを押します。
- 3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。
- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。
- 7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。
- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	通信局番
332	192	通信速度
333	1	ストップビット長
334	2	パリティチェック有無
335	1	交信リトライ回数
336	0以外	交信チェック時間間隔
337	9999	待ち時間設定
341	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信速度	19200	_
データ長	C 7	@ 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	0.1	@ 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🔅	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)(とするか VCC (5 V電源供給)
トを使用する場合	eacy。JJS/Nacr は、VCCを選択して	ことはない。 マイクレーションユニック てください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16	台 📊	
No. 機器名		設定 5-0-ズ=FR-A500/A500L局番号=0
1 . 1		

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR シリーズを変更し 使用されているア ください。	-A500/A500L ▼ た場合は、すでに ドレスを再確認して
局番号 0	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は10%1歳品のマニュアルを参照しててたとい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

- 2 SET キーを押します。
- 3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。
- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。
- 7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。
- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	通信局番
118	192	通信速度
119	1	ストップビット長 / データ長
120	2	パリティチェック有無
121	1	交信リトライ回数
122	0 以外	交信チェック時間間隔
123	9999	待ち時間設定
124	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	T
データ長	0.7	@ 8
パリティ	○ なし	
ストップビット	0.1	@ 2
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 .	(ms)
RI / VCC	🖸 RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかを選択で トを使用する場合	9番ピンをRI(入力)(きます。デジタル製F は、VCCを選択して	にするか VOC 5 V電源供給) 352320 アイソレーションユニッ てください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16-		
No. 機器名		設定 10リーズ=FR-A500/A500L,局番号=0

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR シリーズを変更し 使用されているア ください。	-A500/A500L ▼ た場合は、すでに ドレスを再確認して
局番号 0	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は10%1歳品のマニュアルを参照しててたとい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

2 SET キーを押します。

3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。

- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。

7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。

- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	インバータ局番
332	192	通信速度
333	1	ストップビット長
334	2	パリティチェック有無
335	1	交信リトライ回数
336	0 以外	交信チェック時間間隔
337	9999	待ち時間設定
341	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー 三菱電機(株	\$)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485位線式) · RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	0.7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	0.1	• 2
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🗄 🤅	sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🗄 6	ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9種		するかVCCGV電源供給)
トを使用する場合は	より。アンダル設成 に、VCCを選択して	3232574 タレータョンユニック ください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	100	
No. 機器名		設定

機器設定

💣 個別機器設定	ë 🛛 🗵
PLC1	
シリーズ [Ff シリーズを変更し 使用されている; ください。	R-F500/F500L 👤 」た場合は、すでに アドレスを再確認して
局番号 0	<u>:</u> 初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は19歳1歳留のマニュアルを参照しててたさい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

2 SET キーを押します。

3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。

- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。

7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。

- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	局番
118	192	通信速度
119	1	ストップビット長 / データ長
120	2	パリティチェック有無
121	1	交信リトライ回数
122	0 以外	交信チェック時間間隔
123	9999	待ち時間設定
124	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1			
文字列データモード	1 変更				
通信設定					
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)			
通信速度	19200	_			
データ長	C 7	@ 8			
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ● 奇数 			
ストップビット	0.1	@ 2			
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF			
タイムアウト	3 🔅	(sec)			
リトライ	2 :				
送信ウェイト	0 🔅	(ms)			
RI / VCC	© RI	C VCC			
BS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOO(5/電源供給)					
トを使用する場合	et vocを選択して	ことはない。 マイクレーションユニック てください。 初期設定			
接続可能台数 16台 📊					
No. 機器名		設定 5-0-ズ=FR-F500/F500L局番号=0			
1 . 1					

機器設定

🕈 個別機器設定 🛛 🗙				
PLC1				
シリーズ FR- シリーズを変更し 使用されているア ください。	-F500/F500L マ た場合は、すでに ドレスを再確認して			
局番号 0				
OK(<u>O</u>)	キャンセル			

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は10%1歳品のマニュアルを参照しててたとい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

2 SET キーを押します。

3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。

- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。

7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。

- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	インバータ局番
332	192	通信速度
333	1	ストップビット長
334	2	パリティチェック有無
335	1	交信リトライ回数
336	0 以外	交信チェック時間間隔
337	9999	待ち時間設定
341	1	CR/LF 有無選択

MEMO
3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株	;)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
通信速度	19200	•
データ長	C 7	• 8
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 · · ·
ストップビット	O 1	@ 2
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 : (s	ec)
リトライ	2 🔅	
送信ウェイト	0 🔅 (r	ns)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)に	するかVCCGV電源供給)
トを使用する場合は、	、VCCを選択して	になるアイクレーションエーター ださい。 初期最定
機器別設定		
接続可能台数 16台	the state	
No. 機器名		設定 NU-ズ=FR-E500局番号=0

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-E50 シリーズを変更した場合 使用されているアドレス ください。	0 ・ ・ ・ ・ を 再確認して
局番号 0	- -
	初期設定
OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は10%1歳品のマニュアルを参照しててたとい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

- 2 SET キーを押します。
- 3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。
- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。
- 7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。
- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	通信局番
118	192	通信速度
119	1	ストップビット長
120	2	パリティチェック有無
121	1	交信リトライ回数
122	0 以外	交信チェック時間間隔
123	9999	待ち時間設定
124	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード 1		
通信設定		
通信方式	RS232C (RS422/485位線式) ◎ RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長 (7 0	8
パリティ (こなし 🤉) 偶数 〇 奇数
ストップビット	01 0	2
フロー制御 🤇	こなし 🔍	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 🛛	3 📑 (sec)
UN54 🛛	2 🕂	
送信ウェイト 🛛	D 🔆 (ms)	
RI / VCC Ø	RI C) VOC
RS232Cの場合、9番と	シをRI(入力)にする	5かVCC(5V電源(供給)
トを使用する場合は、	り。テンダル製RB23 VOCを選択してくだ	2017年リレーションユニッ さい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台		
No. 機器名		設定

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-C50 シリーズを変更した場 使用されているアドレス ください。	10 合は、すでに Rを再確認して
局番号 0	:
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キーと三菱電機(株)製インバータセットアップソフトウェアで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 PU/EXT キーを押して、PU 運転モードを選択します。
- 2 インバータセットアップソフトウェアを起動します。
- 3 [システム設定]ウィンドウで設定する局番をダブルクリックし、[インバータの構成]ダイアログ ボックスを表示します。
- 4 [機種]で「FR-C500」を選択します。
- 5 [容量]でインバータの容量を選択します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [確定]をクリックします。
- 8 [OFFLINE] をクリックし、[ONLINE] へ変更します。
- 9 [パラメータ]メニューから[全リスト形式]を選択し、[パラメータ 全リスト形式]ウィンドウを 表示します。
- 10 通信設定を以下のように設定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	通信局番
332	192	通信速度
333	1	ストップビット長
334	2	パリティチェック有無
335	1	交信リトライ回数
336	0 以外	交信チェック時間間隔
337	9999	待ち時間設定
341	1	CR/LF 選択

11 [一括書込]をクリックします。

以上で接続機器の設定は完了です。

MEMO ・ パラメータ変更後、必ず接続機器を再起動してください。

3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	0.7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	0.1	@ 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔅	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🗄	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9)番ピンをRI(入力)(にするか VOC GV電源供給)
トを使用する場合	は、VOCを選択し	いしとなったパックレージョンユニック てください。 初期服設定
機器別設定		
接続可能台数 167		
No. 機器名		設定 11-1 SVリーズ=FR-S500,局番号=0

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-S50 シリーズを変更した場合 使用されているアドレス ください。	0 合は、すでに 、を再確認して
局番号 0	=
	初期設定
OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
n1	0	(n1)通信局番
n2	192	(n2)通信速度
n3	1	(n3) ストップビット長
n4	2	(n4) パリティチェック有無
n5	1	(n5) 交信リトライ回数
n6	0 以外	(n6) 交信チェック時間間隔
n7		(n7) 待ち時間設定
n11	1	(n11)CR/LF 選択

MEMO

3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	RS232C 📀	RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 1	9200	
データ長 〇	7 @	8
パリティ	なし 💿	偶数 🔿 奇数
ストップビット 〇	1 0	2
フロー制御 💽	なし 〇	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3	(sec)	
リトライ 2		
送信ウェイト 🛛 🛛	(ms)	
RI / VCC	RI C	VCC
RS232Cの場合、9番ピ	ンをRI(入力)にする	かVCC(5/V電源供給)
トを使用する場合は、	。アリタル要れ3232 /CCを選択してくださ	のアイクレーションユニダー い。 初期職会定
機器別設定		
接続可能台数 16台 📗		
No. 機器名		設定 「ALL SAU-X=FR-S500局番号=0
. ji con		

機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ FR-S50 シリーズを変更した場 使用されているアドレン ください。	00 ▼ 合は、すでに れた 再確認して
局番号 0	<u>一</u> 初期設定
<u> </u>	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- 3 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
n1	0	(n1)通信局番
n2	192	(n2)通信速度
n3	1	(n3) ストップビット長
n4	2	(n4) パリティチェック有無
n5	1	(n5) 交信リトライ回数
n6	0 以外	(n6) 交信チェック時間間隔
n7		(n7) 待ち時間設定
n11	1	(n11)CR/LF 選択
n19	0	(n19) プロトコル選択

MEMO

3.19 設定例 19

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株	;)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	0.7	· 8
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数
ストップビット	01	@ 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 <u>;</u> (s	ec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🔅 (r	ns)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)に	するか VOC (5 V 電源供給)
トを使用する場合は、	、 VCCを選択して	2220パイクレーションユニッ (ださい)。
機器別設定		
No. 機器名		設定 1

機器設定

💰 個別機器設定	
PLC1	
シリーズ FF シリーズを変更し 使用されている7	R-F500J た場合は、すでに アドレスを再確認して
いたさい。	
	初期設定
OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- **3** MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
n1	0	(n1)通信局番
n2	192	(n2)通信速度
n3	1	(n3) ストップビット長
n4	2	(n4) パリティチェック有無
n5	1	(n5) 交信リトライ回数
n6	0 以外	(n6) 交信チェック時間間隔
n7		(n7) 待ち時間設定
n11	1	(n11)CR/LF 選択

MEMO

3.20 設定例 20

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー 三菱電機(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	C 7	@ 8
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 · · ·
ストップビット	O 1	• 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔅	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🗄	(ms)
RI / VCC	© RI	CVCC
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力)	(こするか VOC (5 V電源供給)
トを使用する場合(よ、VCCを選択し	れるさるというインレーションユニック てください。 初期設定
機器別設定		
	i 📊	
No. 機器名		設定

機器設定

💰 個別機器	設定	>	ĸ
PLC1			
シリーズ シリーズを変] 使用されてい	FR-B,B、 更した場合	3(A500) (は、すでに ままな認知 て	
15円01100 ください。 局番号	เอมานม โก	、を再確認して	
1080	10	初期設定	
OK(<u>O</u>)		キャンセル	

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は19歳1歳留のマニュアルを参照しててたさい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

- 2 SET キーを押します。
- 3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。
- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。
- 7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。
- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	通信局番
118	192	通信速度
119	1	ストップビット長 / データ長
120	2	パリティチェック有無
121	1	交信リトライ回数
122	0 以外	交信チェック時間間隔
123	9999	待ち時間設定
124	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.21 設定例 21

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) · ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	0.7	© 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	0.1	@ 2
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 -	(ms)
RI / VCC	🖸 RI	C Voc
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき トを使用する場合	9番ピンをRI(入力)(きます。デジタル製F は、VCCを選択して	こするかVOCはV電源供給) 182320アイソレーションユニッ こください。 初期職定
機器別設定		
接続可能台数 16	台 📊	=1
No. 1機器名		設定 [v] シリーズ=FR-B/B3(A500),局番号=0

機器設定

💰 個別機器	設定	>	ĸ
PLC1			
シリーズ シリーズを変] 使用されてい	FR-B,B、 更した場合	3(A500) (は、すでに ままな認知 て	
15円01100 ください。 局番号	เอมานม โก	、を再確認して	
1080	10	初期設定	
OK(<u>O</u>)		キャンセル	

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの MODE キー、SET キーまたはアッ プ・ダウンキーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

中期は10%1歳品のマニュアルを参照しててたとい。

1 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。

2 SET キーを押します。

3 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No.の最上位の数字を表示します。

- 4 SET キーを押します。
- 5 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の中位の数字を表示します。
- 6 SET キーを押します。

7 アップ・ダウンキーを押して設定するパラメータ No. の最下位の数字を表示します。

- 8 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 9 アップ・ダウンキーを押して設定値を設定します。
- 10 SET キーを 1.5 秒間押して設定値を書込みます。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
331	0	インバータ局番
332	192	通信速度
333	1	ストップビット長
334	2	パリティチェック有無
335	1	交信リトライ回数
336	0 以外	交信チェック時間間隔
337	9999	待ち時間設定
341	1	CR/LF 有無選択

MEMO

3.22 設定例 22

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要		接続機器変更	
メーカー 三菱電橋	裏(株)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1	
文字列データモー	× 1 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
通信速度	19200	•	
データ長	0.7	• 8	
パリティ	○ なし	 偶数 奇数 	
ストップビット	0.1	• 2	
フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)	
リトライ	2 :		
送信ウェイト	0	(ms)	
RI / VCC	🕫 RI	O VCC	
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)()にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場;	きより。テンダル製作 合は、VCCを選択して	R32320アイリレーションユニッ てください。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 1	6台 📊		
No. 機器名		設定 に、18/11-7-EP-P/P2/4700) 日番号-0	
M ' PLOI			

機器設定

💣 個別機器語	定		×
PLC1			
シリーズ シリーズを変更 使用されてい ください。	FR-B,B: 更した場合 るアドレス	8(A700) - 合は、すでに を再確認して]
局番号	0	 初期設定	
OK(<u>O</u>)		キャンセル	1

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- 3 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容
117	0	PU 通信局番
118	192	PU 通信速度
119	1	PU 通信ストップビット長
120	2	PU 通信パリティチェック
121	1	PU 通信リトライ回数
122	0 以外	PU 通信チェック時間間隔
123	9999	PU 通信待ち時間設定
124	1	PU 通信 CR/LF 選択

MEMO

3.23 設定例 23

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカ	- 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字》	列データモード 1		
通信設定			
通信	方式(RS232C	C RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信法	速度	19200	T
データ	長 (7	• 8
パリテ	r (つなし	 ・ 偶数 ○ 奇数
ストッ	プビット (01	€ 2
70-	制御(• なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
<u> </u> タイム	דלי 🛛	3 📑 (se	c)
リトライ	í 🛛	2 🔅	
送信	ארבל [0 🚊 (m:	3)
RI/	voc (RI -	n voc
RS2	232Cの場合、9番b	シをRI(入力)にす	るかVCC(5V電源供給)
しゅう	使用する場合は、	9。テンダル製R32 VOCを選択してくが	325 パイ クレーションユニッ ださい。 初期設定
機器別設置			
接続	_ 可能台数 16台 🛛		
	No. 機器名 「 」 PLC1		設定 「「」 「シループーEP-B/B3(4700) 局乗号-0
đ.	- Inton		

機器設定

💣 個別機器語	定		×
PLC1			
シリーズ シリーズを変更 使用されてい ください。	FR-B,B: 更した場合 るアドレス	8(A700) - 合は、すでに を再確認して]
局番号	0	 初期設定	
OK(<u>O</u>)		キャンセル	1

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- 3 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容	
331	0	RS-485 通信局番	
332	192 RS-485 通信速度		
333	1	RS-485 通信ストップビット長	
334	2	RS-485 通信パリティチェック選択	
335	1	RS-485 通信リトライ回数	
336	0 以外	RS-485 通信チェック時間間隔	
337	9999	RS-485 通信待ち時間設定	
341	1	RS-485 通信 CR/LF 選択	
549	0	プロトコル選択	

MEMO

3.24 設定例 24

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 三菱電機(株	k)	シリーズ FREQROL インバータ ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•
データ長	C 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	01	© 2
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 : (s	ec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	0 🔅 (n	ns)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)に	するか VCC (5 V 軍源供給)
にするがを選択できる	kg。デンダル製RE 、VCCを選択してく	12320アイクレーションユニッ ださい。 初期職会定
機器加設定		
接続可能台数 16台	lete	
No. 機器名		設定 トーレーマーCD-P/D2(A200) 日番号-0
M PLOI		

機器設定

💣 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FR-B,B	3(A700) 💌
シリーズを変 使用されてし ください。	更した場合 いるアドレス	合は、すでに 、を再確認して
局番号	0	
		初期設定
OK(<u>O</u>)		キャンセル

接続機器の通信設定は CPU ユニットのオペレーションパネルの PU/EXT キー、MODE キー、M ダイ ヤルまたは SET キーで行います。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 電源を ON にします。

- 2 PU/EXT キーを押して PU 運転モードを選択します。
- 3 MODE キーを押してパラメータ設定モードを選択します。
- 4 Mダイヤルで設定するパラメータ No. を表示します。
- 5 SET キーを押して現在の設定値を表示します。
- 6 Mダイヤルで設定値を設定します。
- 7 SET キーを押して設定値を確定します。

設定パラメータ No.	設定値	設定内容	
331	0	RS-485 通信局番	
332	192 RS-485 通信速度		
333	1	RS-485 通信ストップビット長	
334	2	RS-485 通信パリティチェック選択	
335	1	RS-485 通信リトライ回数	
336	0 以外	RS-485 通信チェック時間間隔	
337	9999	RS-485 通信待ち時間設定	
341	1	RS-485 通信 CR/LF 選択	
549	0	プロトコル選択	

MEMO

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ FREQROL インバータ	ポート COM1
文字列データモード 1	- <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	RS232C C (RS422/485位線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 1	19200	-	
データ長	7 01	3	
/{リティ (ಿಸಿರಿ 🔍	周数 〇 奇数	
ストップビット 〇	1 02	2	
フロー制御 (●	ಿ ಜಿಲಿ 🌼 🔿	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛	3 🔆 (sec)		
リトライ [2	2		
送信ウェイト 🔽) <u>:</u> (ms)		
BL/ VCC 6		VCG	
RS232Cの場合、9番ビ	ンをRI(入力)にするか	(VCC/5V電源供給)	
にするかを選択(できます) トを使用する場合は、\	。テジタル製RS2320 VOCを選択してくださし	ジアイソレーションユニッ い。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	tel		
No. 機器名		設定	
M PLOI		[[[]]] [29 - X-FR-A100/A701,同量号=0	

設定項目	設定内容		
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してくだ さい。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を選択します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		

次のページに続きます。

設定項目	設定内容		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。		
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~ 255」で入力します。		

機器設定

💰 個別機器	設定	×	I
PLC1			
シリーズ	FR-A70	D/A701 💌	
シリーズを変] 使用されてい くだざい。	更した場合 いるアドレス	さは、すでに を再確認して	
局番号	0		
		初期設定	
OK(<u>O</u>)		キャンセル	

設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。		
局番号	接続機器の局番号を「0 ~ 31」で入力します。(初期値 [0])		

4.2 オフラインモードでの設定

MEMO

・ オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守 / トラブル解決ガイドを参照して
ください。
参照:保守 / トラブル解決ガイド「2.2 オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
FREQROL インバー	-タ		[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS422/48 19200 ● 7 ● なし ● 1 なし	5(4線式) • 8 • 偶数 • 2	奇数
	タイムアウト(\$) リトライ 送信ウェイト(ms)			
	終了		戻る	2008/03/14 12:01:52

設定項目	設定内容		
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様を 確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してくだ さい。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を選択します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。		
タイムアウト(s)	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。		

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0 ~ 255」で入力します。
送信ウェイト (ms)	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間(ms) を「0~255」で入力します。

機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
	- 27		[COM1]	Page 1/1
接続		21	[oon1]	Tage I/I
134/901		51		
	シリーズ	FR-A700/A	701	
	局番号		0 🔻 🔺	J
				0880780714
	終了		戻る	12:01:59

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ	接続機器のシリーズが表示されます。
局番号	接続機器の局番号を「0 ~ 31」で入力します。(初期値 [0])

5 結線図

以下に示す結線図と三菱電機(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図	1
-----	---

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{⑦●}「 IPC の COM ポートについて」(6 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

推奨ケーブルとコネクタを以下に示します。

品目	型番	メーカー名
10BASE-T ケーブル	SGLPEV-T 0.5mmx4P ¹	三菱電機株式会社
RJ45 コネクタ	5-554720-3	タイコ エレクトロニクス アンプ株式会社

1 2 ピンと8 ピンは使用しません。

A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合



B) 自作ケーブルを使用する場合

	表示 D-sub 9pi	:器側 nソケット		接網 RJ4	売機器側 5コネクタ
	ピン	信号名		ピン	信号名
	1	RDA	•	5	SDA
表示器	2	RDB	•	4	SDB
	3	SDA	▶	3	RDA
	7	SDB	├	6	RDB
	5	SG		1	SG
	4	ERA			
	8	CSA			
	9	ERB	h		
	6	CSB	4]		
	シェル	FG			

______ GP-Pro EX 機器接続マニュアル C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合



結線図 2

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	В	自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



МЕМО

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合



- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO • 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合 表示器側 接続機器側 接続機器側 D-sub 9pinソケット 端子台 端子台 -ルド 終端抵抗 ピン 信号名 信号名 シールド 信号名 $100 \Omega (1/2W)$ 1 RDA SDA1 (TXD1+) SDA2 (TXD2+) SDA1 (TXD1+) ≱ 2 RDB SDB1 (TXD1-) SDB2 (TXD2-) SDB1 (TXD1-) 3 表示器 SDA RDA1 (RXD1+) RDA2 (RXD2+) RDA1 (RXD1+) 7 SDB RDB1 (RXD1-) RDB2 (RXD2-) RDB1 (RXD1-) 5 SG SG (GND) SG (GND) SG (GND) 4 ERA 8 CSA 9 ERB 6 CSB シェル FG 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。 MEMO

______ GP-Pro EX 機器接続マニュアル C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



```
МЕМО
```

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合





最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

結線図 3

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

4 RS-422/485(2 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^②「 IPC の COM ポートについて」(6 ページ)

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



```
МЕМО
```

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合



MEMO ・ 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合



C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



МЕМО

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合


D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合





最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100

に設定してください。

- E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



```
МЕМО
```

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。





- F) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



に設定してください。

接続機器の終端抵抗スイッチを100

МЕМО



結線図 4

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	В	自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 RS-422/485 (4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^②「 IPC の COM ポートについて」(6 ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

推奨ケーブルとコネクタを以下に示します。

品目	型番	メーカー名	
ケーブル	FR-CB20 ¹	三菱電機株式会社	
10BASE-T ケーブル	SGLPEV-T0.5mmx4P ²	三菱電機株式会社	
RJ45 コネクタ	5-554720-3	タイコ エレクトロニクス アンプ株式会社	
	BMJ-8	- 株式会社八光電機製作所	
13-405 万岐田コホワラ	BMJ-8P		

1 にはケーブル長によって異なる数字(1,3,5)が入ります。

2 2 ピンと8 ピンは使用しません。

A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合





B) 自作ケーブルを使用する場合



• 1:n 接続の場合



C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合





自作ケーブル

D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合





結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考	
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01		
	В	自作ケーブル		
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内	
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01		
	F	自作ケーブル		

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

4 RS-422/485(2 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^③「 IPC の COM ポートについて」(6 ページ)

推奨ケーブルとコネクタを以下に示します。

品目	型番	メーカー名	
10BASE-T ケーブル	SGLPEV-T0.5mmx4P ¹	三菱電機株式会社	
RJ45 コネクタ	5-554720-3	タイコ エレクトロニクス アンプ株式会社	
PS 495 公岐田コククタ	BMJ-8	— 株式会社八光電機製作所	
N3-405 JWX用コペクタ	BMJ-8P		

1 2 ピンと8 ピンは使用しません。

A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合





自作ケーブル

B) 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



は田っさんな	分岐用: RJ45	コネクタ コネクタ	接続機器側 RJ45コネクタ		
WHコネクタ (BMJ-8P)	ピン	信号名		ピン	信号名
_	5	SDA		5	SDA
	4	SDB		4	SDB
	3	RDA	┥╢	3	RDA
	6	RDB	┥ ┙╵┶╈	6	RDB
	1	SG		1	SG

RJ45コネクタ

• 1:n 接続の場合



C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合





D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合





E) (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合



• 1:n 接続の場合



- F) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





結線図 6

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

4 RS-422/485(2 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^(分)「 IPC の COM ポートについて」(6 ページ)

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





- E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



F) 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 7

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	В	自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合







- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





- C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合






D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



結線図 8

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	M1) (COM2) A (株)デジタル製 COM ポート変換アタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換ア CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル		
	В	自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合



- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合

MEMO



- C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合



D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合





結線図 9

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長:500m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

4 RS-422/485(2線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「 IPC の COM ポートについて」(6ページ)

- A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



```
МЕМО
```

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

1:n 接続の場合



MEMO ・ 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合



- C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



```
MEMO
```

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合



МЕМО

• 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



МЕМО

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

• 1:n 接続の場合





• 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

- E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



```
МЕМО
```

• 接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

• 1:n 接続の場合



MEMO ・ 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

- F) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

• 接続機器の終端抵抗スイッチを 100 に設定してください。

1:n 接続の場合



мемо

• 最終端の接続機器の終端抵抗スイッチを100 に設定してください。

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。

	🏄 P	ドレス	入力				2	<	
	接続	機器	ŧ [PLC1			Ŧ		
				- 000.	00	-		Η	- 1
	Ba	ack			•	C	lr		
	Α	В	С		7	8	9		
	D	Е	F		4	5	6		
2					1	2	3		
		参照			0	E	nt		

1. アドレス アドレスを入力します。

参照 使用できるパラメータのリストが表示されます。
 使用するパラメータをクリックして「選択」を押すと、アドレスが入力されます。

重要
・パラメータの種類により以下の表に示すような "9999"(パラメータの設定無効等を 意味する)等を入力する場合があります。この場合、表示器からの書込みデータ及び読込みデータは以下のようになります。

インバータ機種	インバータ設定値	書込みデータ		読出しデータ	
FR-S500/FR-F500J		-1	(0xFFFF)	-1	(0xFFFF)
シリーズ	888	-16	(0xFFF0)	-16	(0xFFF0)
上記以外のシリーズ	99999	-1	(0xFFFF)	-1	(0xFFFF)
	8888	-16	(0xFFF0)	-16	(0xFFF0)

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
パラメータ 1	000.00 ~ 991.15	000 ~ 991	TH (L)	2 3
N9X-9	000.00 ~ 993.15	000 ~ 993		
パラメータ ⁴	P037.00 ~ P037.31	P037		3 5
いちほう しいちご ち	S00.00 ~ S59.15	000 050	[H/L]	3 6
設正項日と設正ナーダ	S00.00 ~ S59.31	500 ~ 859		78

1 FR-E500 シリーズ、FR-S500 シリーズ、FR-F500J シリーズ、FR-E700 シリーズのパラメータ 37 以外 のパラメータ。

2 FR-C500 シリーズ、FR-S500 シリーズ、FR-F500J シリーズの接続機器のみ「000 ~ 993」の範囲を 使用できます。

- 3 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。
- 4 FR-E500 シリーズ、FR-S500 シリーズ、FR-F500J シリーズ、FR-E700 シリーズのパラメータ 37。
- 5 FR-E500 シリーズ、FR-S500 シリーズ、FR-F500J シリーズ、FR-E700 シリーズのパラメーター 37 に ついては、「P037」(32 ビットの接続機器)を指定してください。「037」を使用した場合は予測でき ないエラーが発生します。
- 6 FR-V500 / V500L シリーズは 32 ビットの接続機器、他のシリーズは 16 ビットの接続機器です。
- 7 シリーズにより設定項目が異なります。設定項目の読出し/書込みの前に設定項目一覧表で確認してください。
- 8 設定項目には読出しのみまたは書込みのみの項目があります。設定項目の読出し/書込みの前に下表を 参照してください。

設定項目	読出し / 書込み
S01 ~ S04、S06 ~ S46、S49 ~ S52	読出しのみ
S47 ~ S48、S53 ~ S57	書込みのみ
S00、S05、S58 ~ S59	読出しと書込み

設定項目一覧表

FR-A700/FR-A701 シリーズ、FR-F700 シリーズ、FR-E700 シリーズ、FR-B,B3(A700) シリーズ

ワード	FR-A700/FR-A701	FR-F700 シリーブ	ER-E700 シリーブ	FR-B,B3(A700)
アドレス	シリーズ			シリーズ
S00	運転モード	運転モード	運転モード	運転モード
S01	出力周波数 / 回転数	出力周波数 / 回転数	出力周波数 / 回転速度	出力周波数 / 回転数
S02	出力電流	出力電流	出力電流	出力電流
S03	出力電圧	出力電圧	出力電圧	出力電圧
S04	特殊モニタ	特殊モニタ	特殊モニタ	特殊モニタ
S05	特殊モニタ選択 No.	特殊モニタ選択 No.	特殊モニタ選択 No.	特殊モニタ選択 No.
S06	出力周波数	出力周波数	出力周波数 / 回転速度	出力周波数
S07	出力電流	出力電流	出力電流	出力電流
				次のページに続きます。

ワード	FR-A700/FR-A701	FR-F700 シリーズ	FR-E700 シリーズ	FR-B,B3(A700)
アトレス 509	シリース		山中電厅	シリース
300	山刀竜庄	山刀竜庄	山力电上 用油粉热空 <i>体(</i> 同标准度	山 刀竜庄
S09	周波数設定値	周波数設定値	周波数設定值了回転迷度 設定値	周波数設定値
S10	運転速度	運転速度	-	運転速度
S11	モータトルク	-	モータトルク	モータトルク
S12	コンバータ出力電圧	コンバータ出力電圧	コンバータ出力電圧	コンバータ出力電圧
S13	回生ブレーキ使用率	回生ブレーキ使用率	回生ブレーキ使用率	回生ブレーキ使用率
S14	電子サーマル負荷率	電子サーマル負荷率	電子サーマル負荷率	電子サーマル負荷率
S15	出力電流ピーク値	出力電流ピーク値	出力電流ピーク値	出力電流ピーク値
S16	コンバータ出力電圧	コンバータ出力電圧	コンバータ出力電圧	コンバータ出力電圧
	ピーク値	ピーク値	ピーク値	ピーク値
S17	入力電力	入力電力	-	入力電力
S18	出力電力	出力電力	出力電力	出力電力
S19	入力端子状態	入力端子状態	入力端子状態	入力端子状態
S20	出力端子状態	出力端子状態	出力端子状態	出力端子状態
S21	ロードメータ	ロードメータ	-	ロードメータ
S22	モータ励磁電流	-	-	モータ励磁電流
S23	位置パルス	-	-	位置パルス
S24	積算通電時間	積算通電時間	積算通電時間	積算通電時間
S25	オリエントステータス	-	-	オリエントステータス
S26	実稼動時間	実稼動時間	実稼動時間	実稼動時間
S27	モータ負荷率	モータ負荷率	モータ負荷率	モータ負荷率
S28	積算電力	積算電力	積算電力	積算電力
S29	トルク指令	-	-	-
S30	トルク電流指令	-	-	-
S31	モータ出力	-	-	モータ出力
S32	フィードバックパルス	-	-	-
S33	省電力効果	省電力効果	-	省電力効果
S34	省電力積算	省電力積算	-	省電力積算
S35	PID 目標値	PID 目標値	PID 目標値	PID 目標値
S36	PID 測定値	PID 測定値	PID 測定値	PID 測定値
S37	PID 偏差	PID 偏差	PID 偏差	PID 偏差
S38	オプション入力端子状態1	-	オプション入力端子状態1	オプション入力端子状態1
S39	オプション入力端子状態2	-	オプション入力端子状態2	オプション入力端子状態2
S40	オプション出力端子状態	-	オプション出力端子状態	オプション出力端子状態
S41	-	-	モータサーマル負荷率	-
S42	_	_	インバータサーマル	_
012			負荷率	
S43	異常内容	異常内容	異常内容	異常内容
	(最新 No.1,No.2)	(最新 No.1,No.2)	(最新 No.1,No.2)	(最新 No.1,No.2)
S44	異常内容 (最新 No.3,No.4)	異常内容 (最新 No.3,No.4)	異常内容 (最新 No.3,No.4)	異常内容 (最新 No.3,No.4)
S45	異常内容	異常内容	異常内容	異常内容
•	(最新 No.5,No.6)	(最新 No.5,No.6)	(最新 No.5,No.6)	(最新 No.5,No.6)
S46	異常内容 (最新 No.7,No.8)	異常内容 (最新 No.7,No.8)	異常内容 (最新 No.7,No.8)	異常内容 (最新 No.7,No.8)
S47	運転指令(拡張)	運転指令(拡張)	運転指令(拡張)	運転指令(拡張)
S48	運転指令	運転指令	運転指令	運転指令
S49	インバータステータス モニタ(拡張)	インバータステータス モータ(拡張)	インバータステータス モニタ(拡張)	インバータステータス モータ(拡張)
S50	インバータステータス	インバータステータス	インバータステータス	インバータステータス
				<u></u> 次のページに続きます。

ワード アドレス	FR-A700/FR-A701 シリーズ	FR-F700 シリーズ	FR-E700 シリーズ	FR-B,B3(A700) シリーズ
S51	設定周波数読出 (RAM)	設定周波数読出 (RAM)	設定周波数読出 (RAM)	設定周波数読出 (RAM)
S52	設定周波数読出 (EEPROM)	設定周波数読出 (EEPROM)	設定周波数読出 (EEPROM)	設定周波数読出 (EEPROM)
S53	設定周波数書込 (RAM)	設定周波数書込 (RAM)	設定周波数書込 (RAM)	設定周波数書込 (RAM)
S54	設定周波数書込 (RAM,EEPROM)	設定周波数書込 (RAM,EEPROM)	設定周波数書込 (RAM,EEPROM)	設定周波数書込 (RAM,EEPROM)
S55	インバータリセット	インバータリセット	インバータリセット	インバータリセット
S56	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア
S57	パラメータオールクリア	パラメータオールクリア	パラメータオールクリア	パラメータオールクリア
S58	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定
S59	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換

FR-V500/FR-V500L シリーズ、FR-A500/FR-A500L シリーズ、FR-F500/FR-F500L シリーズ、 FR-E500 シリーズ

FR-V500/FR-V500L FR-A500/FR-A500L FR-F500/FR-F500L ワード FR-E500 シリーズ アドレス シリーズ シリーズ シリーズ S00 運転モード 運転モード 運転モード 運転モード S01 回転速度 出力周波数 [回転数] 出力周波数 [回転数] 出力周波数 [回転数] S02 出力電流 出力電流 出力電流 出力電流 S03 出力電圧 出力電圧 出力電圧 出力電圧 S04 特殊モニタ 特殊モニタ 特殊モニタ -S05 特殊モニタ選択 No. 特殊モニタ選択 No. 特殊モニタ選択 No. -S06 出力周波数 出力周波数 出力周波数 -S07 出力電流 出力電流 出力電流 _ S08 出力電圧 出力電圧 出力電圧 -S09 速度設定値 周波数設定値 周波数設定値 _ S10 運転速度 運転速度 運転速度 S11 モータトルク モータトルク S12 コンバータ出力電圧 コンバータ出力電圧 コンバータ出力電圧 2 S13 回生ブレーキ 回生ブレーキ使用率 S14 電子サーマル負荷率 電子サーマル負荷率 電子サーマル負荷率 -S15 出力電流ピーク値 出力電流ピーク値 出力電流ピーク値 -コンバータ出力電圧 コンバータ出力電圧 コンバータ出力電圧 S16 -ピーク値 ピーク値 ピーク値 S17 入力電力 入力電力 -出力電力 S18 出力電力 -S19 入力端子状態 -_ -S20 出力端子状態 _ --S21 ロードメータ _ --S22 モータ励磁電流 ---S23 位置パルス ---S24 積算通電時間 _ _ _ S25 ---S26 実稼動時間 _ _ _ S27 モータ負荷率 -_ _ S28 S29 トルク指令 ---S30 トルク電流指令 _ _ -S31 モータ出力 _ -S32 フィードバックパルス ---S33 _ _ _ S34 ----S35 -_ _ _ S36 --_ -S37 -_ --S38 ----S39 -_ -_ S40 ----S41 --_ -S42 -異常内容 異常内容 異常内容 異常内容 S43 (最新 No.1,No.2) (最新 No.1,No.2) (最新 No.1,No.2) (最新 No.1,No.2) 異常内容 異常内容 異常内容 異常内容 S44 (最新 No.3,No.4) (最新 No.3,No.4) (最新 No.3,No.4) (最新 No.3,No.4) 次のページに続きます。

ワード	FR-V500/FR-V500L	FR-A500/FR-A500L	FR-F500/FR-F500L	
アドレス	シリーズ	シリーズ	シリーズ	FR-E500 シリーズ
S45	異常内容 (最新 No.5,No.6)	異常内容 (最新 No.5,No.6)	異常内容 (最新 No.5,No.6)	異常内容 (最新 No.5,No.6)
S46	異常内容 (最新 No.7,No.8)	異常内容 (最新 No.7,No.8)	異常内容 (最新 No.7,No.8)	異常内容 (最新 No.7,No.8)
S47	-	-	-	-
S48	運転指令	運転指令	運転指令	運転指令
S49	-	-	-	-
S50	インバータステータス モニタ	インバータステータス モニタ	インバータステータス モニタ	インバータステータス モニタ
S51	設定速度 (RAM) 読出	設定周波数 (RAM) 読出 ¹	設定周波数 (RAM) 読出 ²	設定周波数読出(RAM)
S52	設定速度 (EEPROM) 読出	設定周波数 (EEPROM) 読出 ¹	設定周波数 (EEPROM) 読出 ²	設定周波数読出 (EEPROM)
S53	設定速度書込 (RAM)	設定周波数書込 (RAM) ¹	設定周波数書込 (RAM) ²	設定周波数書込(RAM)
S54	設定速度書込(EEPROM)	設定周波数書込 (EEPROM)	設定周波数書込 (EEPROM)	設定周波数書込 (E2PROM)
S55	インバータリセット	インバータリセット	インバータリセット	インバータリセット
S56	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア ¹	異常内容一括クリア ²	異常内容一括クリア
S57	パラメータクリア/ パラメータオールクリア	パラメータオールクリア / ユーザクリア	パラメータオールクリア / ユーザクリア	パラメータオールクリア
S58	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定
S59	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換

1 FR-A500L シリーズでは使用しません。

2 FR-F500L シリーズでは使用しません。

ワード FR-C500 シリーズ FR-B,B3(A500)

FR-C500 シリーズ、	FR-S500 シリーズ、	FR-F500J シリーズ、	FR-B,B3(A500) シリーズ
---------------	---------------	----------------	--------------------

アドレス				シリーズ
S00	運転モード	運転モード	運転モード	運転モード
S01	出力周波数 [回転数]	出力周波数 [回転数]	出力周波数 [回転数]	出力周波数 [回転数]
S02	出力電流	出力電流	出力電流	出力電流
S03	-	-	-	出力電圧
S04	-	-	-	特殊モニタ
S05	-	-	-	特殊モニタ選択 No.
S06	-	-	-	出力周波数
S07	-	-	-	出力電流
S08	-	-	-	出力電圧
S09	-	-	-	周波数設定値
S10	-	-	-	運転速度
S11	-	-	-	モータトルク
S12	-	-	-	コンバータ出力電圧
S13	-	-	-	回生ブレーキ使用率
S14	-	-	-	雷子サーマル自荷率
S15	-	-	-	出力雷流ピーク値
-				
S16	-	-	-	ピーク値
S17	-	-	-	入力電力
S18	-	-	-	出力電力
S19	-	-	-	
S20	-	-	-	-
S21	-	-	-	-
S22	-	-	-	-
S23	-	-	-	-
S24				-
S25	_	_	-	-
S26	_	_	-	-
S27	_	_	-	-
S28	_	_	_	_
S29	_	_	_	_
S30	_	_	_	_
S31	_	_	_	_
S32				
S33				
S34				
S35		-	-	-
S36		-	-	-
S37	-	-	-	-
S38	-	-	-	-
S20	-	-	-	-
539 640	-	-	-	-
S40	-	-	-	-
S41	-	-	-	-
542	-	-	-	-
S43		異常内容 (星新 N-1 N-2)	異常内容 (星新 N-1 N-2)	異常内容 (星新 N-1 N-2)
	(取利 No.1,No.2) 目台中の	(取利 NO.1,NO.2) 目堂中安	(取利 NO.1,NO.2) 目営由の	(取利 NO.1,NO.2) 目営由の
S44				
	(取初 110.3,110.4)	(取初1110.3,110.4)	(取初 110.3,110.4)	(取利110.3,110.4) 異労内容
S45	-	-	-	(最新 No 5 No 6)
<u> </u>				次のページに 続きます

ワード アドレス	FR-C500 シリーズ	FR-S500 シリーズ	FR-F500J シリーズ	FR-B,B3(A500) シリーズ
S46	-	-	-	異常内容 (最新 No.7,No.8)
S47	-	-	-	-
S48	運転指令	運転指令	運転指令	運転指令
S49	-	-	-	-
S50	インバータステータス モニタ	インバータステータス モニタ	インバータステータス モニタ	インバータステータス モニタ
S51	設定周波数読出 (RAM)	設定周波数読出 (RAM)	設定周波数読出 (RAM)	設定周波数 (RAM) 読出
S52	設定周波数読出 (EEPROM)	設定周波数読出 (EEPROM)	設定周波数読出 (EEPROM)	設定周波数 (EEPROM) 読出
S53	設定周波数書込 (RAM のみ)	設定周波数書込 (RAM のみ)	設定周波数書込 (RAM のみ)	設定周波数書込 (RAM)
S54	設定周波数書込 (RAM および EEPROM)	設定周波数書込 (RAM および EEPROM)	設定周波数書込 (RAM および EEPROM)	設定周波数書込 (EEPROM)
S55	インバータリセット	インバータリセット	インバータリセット	インバータリセット
S56	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア	異常内容一括クリア
S57	パラメータオールクリア	パラメータオールクリア	パラメータオールクリア	パラメータオールクリア / ユーザクリア
S58	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定	リンクパラメータ 拡張設定
S59	-	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換	第2パラメータ切換

мемо

- 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
パラメータ ¹	-	0080	ワードアドレス
パラメータ ²	Р	0082	ワードアドレス
設定項目と設定データ ³	S	0081	ワードアドレス
設定項目と設定データ ⁴	S	0083	ワードアドレス

1 FR-E500 シリーズ、FR-S500 シリーズ、FR-F500J シリーズ、FR-E700 シリーズのパラメータ 37 以 外のパラメータ。

2 FR-E500 シリーズ、FR-S500 シリーズ、FR-F500J シリーズ、FR-E700 シリーズのパラメータ 37。

3 FR-V500 シリーズと FR-V500L シリーズ以外のシリーズ。

4 FR-V500 シリーズと FR-V500L シリーズ。

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容	
番号	エラー番号	
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])	
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。	
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。	

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :2[02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら (エラーコード一覧)」を参照してください。

接続機器特有のエラーコード

エラーコード	内容
H0	計算機 NAK エラー
H2	サムチェックエラー
HA	モードエラー
HB	命令コードエラー
HC	データ範囲エラー